

タイ国および日本の流域水政策（治水政策） に関する国際シンポジウム

日時：2007年12月13日（木） 9:25-12:30

会場：日本大学理工学部 駿河台校舎 123室

本シンポジウムは、アジア・モンスーン地域における持続可能な流域水管理政策（治水政策）を考えていくために、日本の行政とタイ国の政策に携わっている専門家（2名）を招聘し、それぞれの具体的な取り組みを紹介していただくと共に、日本からの事例報告を加えて議論することを目的に開催するものです。

なお、本シンポジウムは科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業（JST/CREST）の研究課題「人口急増地域の持続的な流域水政策シナリオ～モンスーンアジア地域等における地球規模水循環変動への対応戦略～」（研究代表：砂田憲吾山梨大学教授）の一環として開催するものです。

- プログラム：次ページ参照
- 参加：無料
- 定員：約 30 名
- 逐次通訳あり

主催：日本大学理工学部（水環境システム研究室）、土木研究所（予定）

後援：科学技術振興機構

連絡先：日本大学理工学部 水環境システム研究室 担当：宮本守

Phone：047-469-5228

e-mail：miyamoto@trpt.cst.nihon-u.ac.jp

プログラム

司会：吉川勝秀

9:25－9:30：開会挨拶

日本発表

9:30－9:50：「利根川流域治水の経過と現状」（日本語）

渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団
白井勝二

9:50－10:10：「東京首都圏（中川・綾瀬川流域）の総合的治水対策の経過と現状」（日本語）

国土交通省 江戸川河川事務所
北村匡

タイ発表

10:10－11:10：「タイ国チャオプラヤ川流域治水の政策課題」（英日逐次通訳）
（質疑 10 分）

Pongsthakorn Suvanpimol
Royal Irrigation Department, Thailand

11:10－12:10：「バンコク首都圏の都市計画と治水対応について」（英日逐次通訳）
（質疑 10 分）

Ksemsan Suwarnarat
Retired Chairman of the Board Directors
Waste Water Management Authority, Thailand

12:10－12:30：総合討論

12:30：終了

プログラムは変更の可能性があります。

会場案内

日本大学理工学部 1号館 2F 123室

〒102-0082 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

JR 中央・総武線「御茶ノ水」駅 徒歩3分

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 徒歩5分



日本大学理工学部 周辺地図



キャンパス案内